



学校だより 令和4年12月
新宿区立四谷第六小学校
校長 岩澤 肇

【 教育 目 標 】
・自ら学ぶ子ども
・たくましい子ども
・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6>

第74回人権週間を前に思うこと

副校長 笥田 貴之

1948年12月10日、国際連合の総会において、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は「人権デー」と定められています。

わが国では、1949年から毎年、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関および団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

しかし、今なお、様々な人権問題が依然として存在しています。こうした問題を解決し、「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人ひとりが人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。（法務省人権擁護局トップページより）

「21世紀は人権の世紀」と言われます。過去の2度にわたる大きな戦争から人権尊重こそが平和の基盤であると願うようになったからです。

「人権とは何か」と考えたときに、次の3つの権利を考えるとよいといわれます。その3つとは、「安心」「自信」「自由」です。子どもたちにも分かるようにまとめられたものですが、大人にとってもわかりやすい考えと感じます。

いじめやインターネット上での誹謗中傷、偏見や差別など学校内外で様々な人権の問題が子どもたちを取り巻いています。だからこそ人権週間を前に、子どもたちの「安心」「自信」「自由」が守られているかももう一度しっかりと見つめていきたいと思えます。

ある自治体で人権週間の取組みのテーマに「認め合い・思い合い」という言葉を用いていました。「思い合い」という言葉は印象的で、大切なことと感じました。

子どもたち同士が「認め合い、思い合える」学校生活をしっかりと築いて参ります。

※ご来校時のお願い。

ご来校いただきました際は、来校者名簿にご記入いただきますようお願いいたします。ご記入されなかった際は、安全管理上、受付の管理員がお声を掛けさせていただいております。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

～3年生の窓～

3年担任

11月22日（火）2校時に、四谷第六幼稚園のたんぼぼ組の子どもたちを招いて、体育館で遊びました。この日のために3歳の園児が安全に楽しく遊べるものは何か考え、学級でも準備や説明の練習をしてきました。たんぼぼ組の12人が登場すると、ロ々に「かわいい～！」と大歓迎。いろいろなゲームのコーナーへ優しくエスコートしたり危なくないように手を添えてあげたりして、3年生もお兄さん・お姉さんの気分を十分楽しむことができました。

こうした年少者への思いやりや相手の立場に立って行動する機会をもつことで、心の成長が見られた行事でした。

個人面談について

教務主任

12月15日（木）、19日（月）、20日（火）、21日（水）、22日（木）の5日間で個人面談を行います。

2学期のお子様の様子、成長した点、冬休みの課題等について話し合いたいと思います。15分間という短い時間をより有意義な時間にできるように、お話したいことが決まっていれば事前に各担任にお知らせください。また、配布した面談日程の変更がある場合も連絡帳にてお伝えください。